

タイガー魔法瓶が実践する「4つの約束」

未来を水筒につめて
タイガー



約束します。

- NO・紛争鉱物
- NO・丸投げ生産
- NO・フッ素コート
- NO・プラスチックごみ

2021年8月29日

タイガー魔法瓶株式会社
真空断熱ボトル ブランドマネージャー
南村 紀史

タイガー 真空断熱技術の歴史

タイガー魔法瓶：真空断熱「水筒」技術の歩み

大震災に耐えた魔法瓶

1923年に「虎印魔法瓶」が発売。その壊れない品質の高さと中瓶を安く交換するアフターサービスの気配りから、発売から半年もたたないうちに同製品は京阪神の魔法瓶市場の70%を占めるまでになりました。同年6月には東京に進出。

その直後の9月、関東大震災が関東地方を襲います。東京に虎印魔法瓶を納めていた金物問屋も大きな被害を受け、倉庫に保管されていた魔法瓶は大部分が壊れました。その中で、まったく無傷だった魔法瓶が100本残りました。それがすべて虎印魔法瓶製だったのです。この事実が業界に知れわたり、曲折のなかで、みるみる間に販路を拡大。3年後には東京市場の85%を占めるまでになりました。



魔法瓶は、ガラス製からステンレス製へ

1981年、タイガー魔法瓶として初のステンレスボトルが発売となりました。当時は、ガラス製に比べて2倍を超える小売価格でしたが、割れないというメリットに加え、保温力の増強、コンパクト&軽量化など商品性能を向上させ、発売2年目から毎年売り上げが伸長。魔法瓶業界で見ても、1985年にステンレス製の国内向け携帯用魔法瓶出荷総数が、ガラス製を上回るという急成長を見せました。そして、1986年、現在のステンレスボトルのブランド名の「SAHARA（サハラ）」をつけて発売された第1号商品のダブルステンボトル「サハラスリム」は大ヒットとなりました。

ちなみに、1983年には、エベレスト無酸素登頂にタイガーのステンレスボトル（BWB型）が携行されました。地上8000m以上という過酷な条件下においても、温かい飲み物を届け、山学同志隊にひとときのだんらんを提供して世の中の大きな話題になったそうです。



タイガー魔法瓶：真空断熱技術における世界No.1のハイテク企業へ

タイガーの真空断熱技術は宇宙へ

<第一弾プロジェクト>

2018年11月11日、国際宇宙ステーション（ISS）から物資を運ぶ小型回収カプセルが地球に帰還しました。宇宙ステーション補給機「こうのとり」7号機から分離したこの小型回収カプセル内の真空二重断熱容器は、JAXAとタイガー魔法瓶が共同開発したものです。たんぱく質の結晶などの貴重な宇宙実験サンプルを保冷状態で格納する「真空二重断熱容器」で、落下時の激突に耐え、ISSで保冷剤と共に格納された試料を、5日と15時間にわたって4℃に保ちました。



<第二弾プロジェクト>

2021年6月4日、タイガー魔法瓶の技術が再び宇宙へ。当社が開発に携わった「真空二重構造断熱・保温輸送容器」が搭載されたSpaceXの宇宙船「ドラゴン22号機」が打ち上げられました。今回、第二弾での更なる挑戦として、新たな保冷性能条件や容器再利用という要求事項を満たした真空二重断熱容器の開発をJAXAより依頼されました。

◇新たに設定された3つの要求事項

①厳格なまでの保冷温度管理

打ち上げからISSまでの実験試料の温度維持のため、保冷剤を同梱することで**20℃±2℃を12日間以上保つ。**

ISSから地上に回収するまでの期間も、**20℃±2℃で7.5日以上保つ。**

②複数回利用に耐え得る設計

長期的な利用を想定し、**1回限りの使い切りではなく、3年以上または6回以上の再利用を可能にする。**

③大幅な軽量化・サイズダウン

真空断熱技術による高性能な保冷機能を保ちながら、容器の質量を3.16キロ以下と**容器サイズをコンパクトに製作する。**



タイガー サステイナブルアクション

「4つの約束」



サステイナブルは人を縛るものではなく、人を自由にするものでありたい。

大量生産ではなく、カスタマイズされたボトルを持つ。

そのシンプルなアクションは、地球の未来を書き換える行動。

Hydrate with care. 人権や環境を思いながら喉をうるおす。

Care for your health (健康配慮),

Care for people & peace (人権配慮),

Care for the planet earth (環境配慮).

2020年7月より、人や社会に配慮したボトルであることを宣言

同時にタイガー初のD2Cサイトを開設





D2C = Direct to Consumer

- ユーザーと直接コミュニケーションし直接販売する
- 会社のビジョンやブランド思想などを何の介入もなく直接購入者に伝えることができる。
- 提供する価値は、商品の世界観や歴史、それに合わせたライフスタイル、そして次に商品の機能 ←→ 従来はまず商品の機能やスペック
- ユーザーとコミュニケーションを取りながら、ともにアクションを行いながら、その世界を進化させる



OUR MISSION – 4つの約束 –

脱・紛争鉱物
HUMAN RIGHTS

紛争の資金源になっている鉱物資源を使いません。また15歳以下の労働者のいる企業とは取引しません。

脱・フッ素コート
ANTI POLLUTION

フッ素コートを使わず、高度な研磨技術で同等の防染性能を実現しています。

脱・丸投げ生産
HEALTH
PROTECTION

生産・品質管理等独自の厳しい基準に則り、社員が厳格に管理しています。

脱・プラスチックごみ
SUSTAINABILITY

マイボトルの普及を通じて、プラスチックごみ削減に寄与します。



持続可能な社会への貢献を約束し、SDGs達成を目指す

OUR MISSION - 4つの約束 -

① 脱・紛争鉱物 HUMAN RIGHTS

－紛争鉱物を使わない－

紛争の資金源になっている鉱物資源を使いません。

15歳以下の労働者のいる企業とは取引しません。

人の苦しみで作られた原材料は、どんなに安価であったとしても使用しません。

また、すべての人が清潔な水を利用できることを祈り、
売上の一部を、国際NGO ウォーターエイドに寄付します。

「持続可能型社会の推進には、人権配慮があってこそ」
と私たちは考えます。



OUR MISSION - 4つの約束 -

① 脱・紛争鉱物 HUMAN RIGHTS



タイガーボトル × WaterAid

あなたと世界の渇きを癒す
シンプルなアクション。

タイガー魔法瓶は、タイガーボトルサイトの売り上げの一部を

WaterAidの活動の支援金として寄付します。

対象期間：2020/11/25 - 2021/7/2

OUR MISSION - 4つの約束 -



② 脱・フッ素コート ANTI POLLUTION

- フッ素コート不使用 -

数千種類ある有機フッ素化合物の中には、以前は使用を認められていながら、今は国際条約で使用が禁止されているものがあります。

環境・健康の両面への影響を考え、私たちは、フッ素コートを全ボトルに使わず、高度な研磨技術で同等の防染性能を実現しています。

※タイガー魔法瓶 製品フッ素コート不使用に関して

OUR MISSION -4つの約束-

③ 脱・丸投げ生産 HEALTH PROTECTION

—自社工場生産—

お客様の健康を守れる品質を担保するため、コストをい
とわず、私たちは、年間約800万本のボトルを3つの自社
工場で生産しています。

生産・品質管理等、タイガー独自の厳しい基準に則り、
社員が厳格に管理をしています。

抗菌対応のせんも、自社工場生産の体制が整っているか
らこそ、誕生をしました。

[抗菌加工せんの詳細はこちら](#)



OUR MISSION -4つの約束-

③

脱・丸投げ生産 HEALTH PROTECTION

いつも健康でいてほしいから
毎日のボトルに
タイガーカスタムボトル
抗菌加工せん


SIAA
ISO 22196
抗菌加工



すべての人に、より安心で、より安全なボトルを届けたい。

その一心でタイガーは、SIAA（抗菌製品技術協議会）認証の、抗菌加工せんを開発しました。

毎日の健康リスクを減らしてくれる

さらに清潔なタイガーカスタムボトルの目印です。

OUR MISSION - 4つの約束 -



④ 脱・プラスチックごみ SUSTAINABILITY

—マイボトルでプラスチック削減—

プラスチックからの脱却が世界的な潮流になっている中、日本国内で年間約252億本が生産されるペットボトル飲料は、最も身近なプラスチック製品です。

私たちはマイボトルの普及を通じて、プラスチックごみ削減に寄与します。

「4つの約束」の浸透

活動事例紹介

サスティナブルを体感しながら選べるカスタムボトル

商品概要



〈製品情報〉

- ・MXV-E035/050/060
- ・3サイズ展開 画像は500mL
- ・栓は左図のスクリュタイプその他下記ワンプッシュタイプも選べる



タイガーボトル専用サイト※で購入可能 <https://www.tigerbottles.com/>
※ユーザーとの「ダイレクトコミュニケーション」が可能なD2Cサイト

〈展開サイズ〉

※価格はいずれも税込



350mL 2,970円
500mL 3,300円
600mL 3,630円

〈栓タイプ〉

黒か茶色から選べる (抗菌加工の黒タイプは9/1発売)



+

ワンプッシュタイプ 1,100円
スクリュタイプ 990円



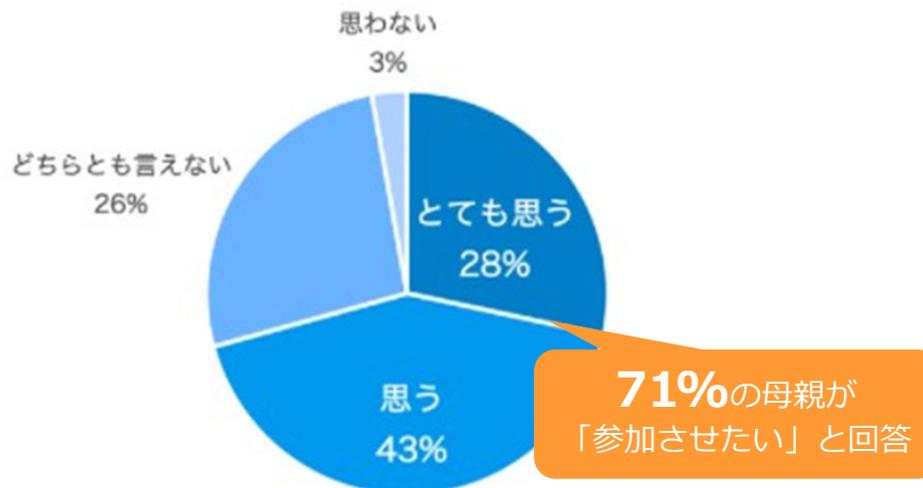
SIAA (抗菌製品技術協議会) 抗菌マークを取得した抗菌加工せん

サステイナブルを体感しながら選べるカスタムボトル

課題の着眼点

企業によるサステイナブル活動は以前から注目されており、コロナ禍でますます注目度は高まっている
特に子どもへのSDGs教育が進むなかで、社会生活の一つである購買行動においてサステイナブルを
体感できる商品と環境を提供し、子どもへのサステイナブル教育に貢献したいと考えた

子どもをSDGs活動に参加させたいと思いますか？



子ども向け教材は多く見られるが
企業が社会体験として提供できるものは
あまり見受けられない



※2020年2月 みらい調査「小学生の子を持つ母親へのアンケート」より抜粋

サステイナブルに作られた真空断熱ボトルの購入体験を通じて
子どもたちのサステイナブル教育に貢献したい

サステナブルを体感しながら選べるカスタムボトル

課題へのアプローチ

OUR MISSION -4つの約束-



人の健康や環境に配慮して作られた製品であることを、4つの約束として宣言（2020年7月～）

<D2Cサイト購入時>

- ベンガルタイガー：絶滅危惧種の保護
- ウミガメ：海洋汚染への対策
- ヒューマンエナジー：人権尊重



11色にはそれぞれ希少動物や自然保護など「守りたい」テーマが設けられており、サイトでは美しいビジュアルを見ながら、子どもが守りたいと思うテーマや好きな色を選ぶことができる



売上の一部を「すべての人に清潔な水と衛生を」を掲げる国際NGO「WaterAid」に寄付
WaterAidの活動は、タイガーボトルサイト内で見ることができる

サステイナブルを体感しながら選べるカスタムボトル

消費者の評価・エビデンス

子どもを持つお母さんらから、以下のお声をいただいています ※自社アンケートより抜粋

ボトルの背景が美しく、小学1年生にも見ていて楽しいサイトだったよう。子どもが悩みながら選んだので、大切に使ってくれるだろう



わが子がSDGsに興味があり、一緒に学習する中この商品を知った。色に応じた問題提起は子どもにもわかりやすい。ボトル購入で環境問題の知識を得る学びのキッカケになることは素敵だと思う

小2と小1の息子が、それぞれ好きな色を選び、届くのを楽しみにしている。沢山の選択肢があるなか、環境に配慮する企業が増えることを願って、応援している



子どもがボトル購入を通じてサステイナブルを体感するきっかけを提供

「4つの約束」のさらなる進化

2021年7月29日
亀岡市と環境パートナーシップ協定締結

プレスリリース

2021年07月29日 [企業情報](#)

サーキュラーエコノミーの実現へ 使用済みステンレス製ボトルの回収と再資源化を京都府亀岡市からスタート

熱制御テクノロジーで世界をリードするタイガー魔法瓶株式会社(社長:菊池嘉聡、本社:大阪府門真市)は、持続可能な社会の実現のために、ステンレス製真空断熱ボトルのメーカーとして「循環型モノづくり」が責務と考え、タイガー製品のみならず、広く使用済みステンレス製ボトルの受け入れ、再資源化の取り組みを、京都府亀岡市とスタートさせます。当社は真空断熱ボトルにおいて、2020年より「NO・紛争鉱物」「NO・フッ素コート」「NO・丸投げ生産」「NO・プラスチックごみ」の"4つの約束"を掲げており、地球の未来のために、人権・健康・環境の社会課題にチャレンジしております。

今後は順次、ご賛同いただける全国各地の自治体・販売店様などと共に再資源化モデルを構築して本取り組みを展開し、持続可能な社会の実現に寄与したいと考えております。

使用済み真空断熱ボトル（ステンレス材、および樹脂部材）の再資源化モデルについて

ご家庭で不要になった真空断熱ボトルを地域の学校や企業にて回収し、リサイクル専門業者へ集約。集まったリサイクル原料から再生ステンレス材および再生樹脂製品を生産します。再生ステンレス材は新たな製品へと生まれ変わり再びお客様の元へ、再生樹脂製品は当社の各生産工場にて活用するといった再資源化モデルを構築します。

モノを消費・使い捨てるのではなく、再資源化することで、環境負荷低減と持続可能な経済成長を両立させるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現を目指します。

京都府亀岡市と「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を提携

当社と京都府亀岡市（市長：桂川孝裕）は使用済みステンレス製ボトルの回収と再資源化の取り組みを含む「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」を2021年7月28日に締結いたしました。

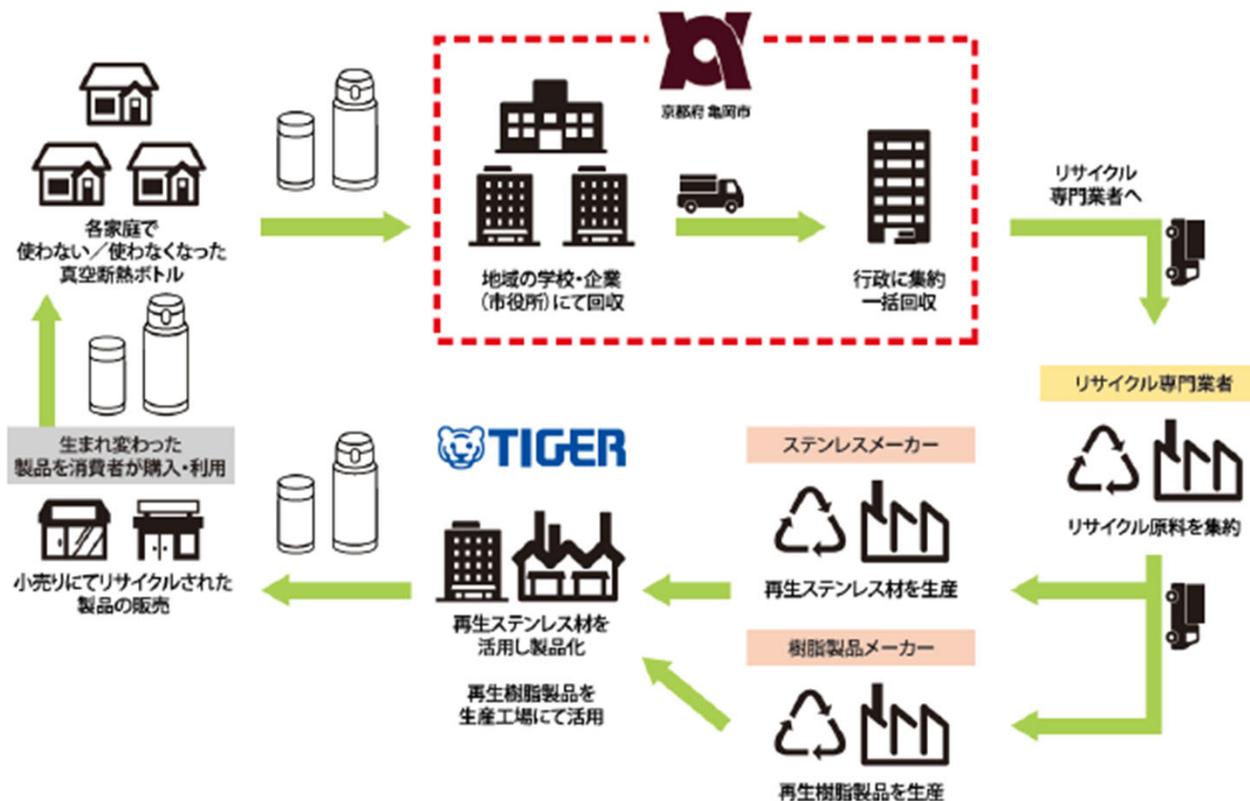
亀岡市は2018年12月13日に「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信し、全国で初めて小売店でのプラスチック製レジ袋の全面禁止を打ち出すなど、自然環境の保全と地域経済の活性化に注力している市町村のひとつです。

環境先進都市を目指す亀岡市と、サステナブルなものづくりを実践する当社が連携することにより、産官学民による新たなライフスタイルの実現、真空断熱ボトルを通じた循環型社会の実現を進めてまいります。



タイガー魔法瓶が提供可能な資源循環取り組み

<再資源化モデルイメージ図> ※京都府亀岡市との取り組みの例



<貢献する主なSDGs (持続可能な開発目標)>



産官学民での取組と目指す姿



参考資料

弊社社内取り組みご紹介

プレスリリース

2020年10月01日 **企業情報**

タイガー魔法瓶が「社内ペットボトル使用ゼロ」2020年10月1日より実施

人権や健康や環境の社会課題に取り組む企業として
本社新オフィス棟オープンに合わせ
タイガー魔法瓶が「社内ペットボトル使用ゼロ」
2020年10月1日より実施



熱制御テクノロジーで世界をリードするタイガー魔法瓶株式会社（社長：菊池嘉聡、本社：大阪府門真市）は、本社敷地内に新オフィス棟をオープンいたしました。食卓を中心として世界中に幸せな回らんを広めてきた当社の企業理念をそのままに、新オフィス棟を中心として様々な人が交流し、響き合いながら温もりのある新しいアイデアを、次の100年も生み出していくことを目指します。

この度、新オフィス棟オープンに合わせ、人権や健康や環境などの社会課題に取り組む企業として、2020年10月1日(木)より「社内ペットボトル使用ゼロ」を実施いたします。

具体的には、以下の4つを実現してまいります。①自動販売機の入替え：ペットボトル容器を扱わないラインナップに変更、②給茶機の導入：お客様・社員向けに水やお茶などを無料で提供（容器は当社ステンレスボトルを推奨）、③ペットボトル持ち込みの禁止：構内へのペットボトル持ち込み不可、④炊飯時の水：水道水もしくは蒸留水を使用、の4つ。なお、本施策は全国支店も含むタイガー魔法瓶株式会社全社にて開始し、グループ全体でも段階的に導入を予定しています。

当社のステンレスボトルは、2020年度より「未来を水道につめて」というメッセージとともに「NO・紛争鉱物」「NO・フッ素コート」「NO・丸投げ生産」「NO・プラスチックごみ」という「4つの約束」を掲げてまいりました。そして、製品視点で取り組んでまいりました「NO・プラスチックごみ」を企業視点でも展開すべく、社内ペットボトル使用ゼロを目標に決めました。

日々の暮らしに寄り添う製品をお届けする企業だからこそ、環境に良いことを。タイガー魔法瓶は皆様と一緒に社会課題に取り組みます。

未来を水筒につめて タイガー



熱いものは、熱いままで。冷たいものは、冷たいままで。
真空断熱ボトルの基本性能でも、タイガーはどこにも負けません。

でも、それだけじゃない。
このボトルには、愛するものがあります。
人権や、健康や、環境や。

だから、していないことがあります。
紛争鉱物を使わない。フッ素コートを使わない。丸投げ生産をしない。
そして、真空断熱ボトルとして、
プラスチック容器をなるべく削減することに役立つ。

タイガー真空断熱ボトルの4つの約束です。

